

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	東北財務局長
【提出日】	平成25年1月11日
【四半期会計期間】	第32期第3四半期(自平成24年9月1日至平成24年11月30日)
【会社名】	株式会社 薬王堂
【英訳名】	YAKUODO. Co. , Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 西 郷 辰 弘
【本店の所在の場所】	岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第3地割242番地1
【電話番号】	019－697－2615（代表）
【事務連絡者氏名】	財務部長 小 笠 原 康 浩
【最寄りの連絡場所】	岩手県紫波郡矢巾町大字広宮沢第3地割242番地1
【電話番号】	019－697－2615（代表）
【事務連絡者氏名】	財務部長 小 笠 原 康 浩
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 (大阪市中央区北浜一丁目8番16号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第32期 第3四半期累計期間	第31期
会計期間		自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日	自 平成23年3月1日 至 平成24年2月29日
売上高	(千円)	36,210,926	45,570,759
経常利益	(千円)	1,544,511	2,400,149
四半期（当期）純利益	(千円)	988,438	576,073
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)	—	—
資本金	(千円)	799,300	799,300
発行済株式総数	(株)	3,001,200	3,001,200
純資産額	(千円)	7,672,514	6,798,884
総資産額	(千円)	20,135,188	18,810,760
1株当たり四半期（当期） 純利益金額	(円)	346.41	201.89
潜在株式調整後1株当たり 四半期（当期）純利益金額	(円)	—	—
1株当たり配当額	(円)	—	40.00
自己資本比率	(%)	38.1	36.1

回次		第32期 第3四半期会計期間
会計期間		自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)	88.54

- (注) 1 当社は、連結子会社でありました有限会社薬王堂販売を、平成24年6月1日付で吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。また、前連結会計年度は連結財務諸表を作成しているため、前第3四半期累計（会計）期間については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 持分法を適用した場合の投資利益については、第32期第3四半期累計期間は関連会社が存在しないため、また第31期は連結財務諸表を作成しているため記載しておりません。
- 4 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社は、連結子会社である有限会社薬王堂販売を吸収合併しましたが、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において当社が判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第3四半期累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の復興需要はあるものの、海外経済の停滞や円高の長期化、アジア近隣諸国との関係悪化など、経済環境は不安定な状況で推移いたしました。

当社の営業基盤であります東北地方においては、建設関連の復興需要は高いものの、不安定な国内外の情勢による生産活動の弱まりや個人消費の鈍化など、依然として厳しい経済環境が続いております。

このような状況の中、当社といたしましては、ドラッグストアを岩手県に9店舗、宮城県に7店舗、山形県に1店舗を新規出店するとともに、22店舗の既存店改装を実施し店舗活性化に努めました。また、岩手県のドラッグストア1店舗を退店し、当第3四半期会計期間末の店舗数は146店舗（うち調剤併設型4店舗、調剤専門薬局1店舗）となりました。

以上の結果、当第3四半期累計期間における売上高は362億1千万円、営業利益は14億9百万円、経常利益は15億4千4百万円、四半期純利益は9億8千8百万円となりました。

なお、連結子会社でありました有限会社薬王堂販売を、平成24年6月1日付で吸収合併したことにより、連結子会社が存在しなくなったため、第2四半期累計期間より四半期連結財務諸表を作成しておりません。このため、前年同四半期との比較は行っておりません。

また、部門別の業績は次のとおりであります。

① ヘルスケア部門

医薬品は健康食品、ドリンク剤等が伸張し、衛生用品では介護用紙おむつ等が伸張いたしました。調剤は堅調に推移いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比0.8%増加し、98億5千7百万円となりました。

② ビューティケア部門

化粧品はカウンセリングメイク、基礎化粧品、男性化粧品等が伸張し、トイレタリーではオーラルケア、ヘアケア、エチケット商品等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比4.3%増加し、70億9千2百万円となりました。

③ ホームケア部門

日用品は衣料用洗剤、家庭紙等が伸張し、衣料品では服飾商品、履物等が伸張いたしました。その結果、売上高は前年同四半期比5.5%増加し、44億8千7百万円となりました。

④ コンビニエンスケア部門

食品は飲料、菓子、日配品等が伸張し、酒類では発泡酒、ビール、焼酎等が伸張いたしました。バラエティ部門はペット関連商品、文房具類が伸張いたしました。この結果、売上高は前年同四半期比10.3%増加し、147億7千2百万円となりました。

(注) 部門別の業績については、前第3四半期累計期間において、連結売上高と単体の売上高は一致しておりますので、前年同四半期との比較を記載しております。

(2) 財政状態の分析

当第3四半期会計期間末の流動資産は89億6千7百万円となり、前事業年度末に比べ1億5千8百万円の減少となりました。主な増減要因といたしましては、新規出店に伴い商品が5億7千3百万円増加したものの、現金及び預金が7億2千1百万円減少したことがあげられます。

固定資産は111億6千7百万円となり、前事業年度末に比べ14億8千2百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、新規出店に伴い建物等の有形固定資産が13億5千万円増加したことがあげられます。

流動負債は89億6千6百万円となり、前事業年度末に比べ1億3千3百万円の減少となりました。主な増減要因といたしましては、買掛金が8億2千2百万円増加したものの、未払法人税等が6億5千2百万円減少したことなどがあげられます。

固定負債は34億9千5百万円となり、前事業年度末に比べ5億8千4百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、長期借入金の新規借入れにより5億5千1百万円増加したことがあげられます。

純資産合計は76億7千2百万円となり、前事業年度末に比べ8億7千3百万円の増加となりました。主な増加要因といたしましては、利益剰余金の増加があげられます。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

(5) 従業員数

平成24年11月30日現在

従業員数(名)	433 〔1,078〕
---------	----------------

(注) 1 従業員数は就業人員であり、〔 〕 書は外書で臨時社員（契約社員・パート・アルバイト）（1日8時間換算）の当第3四半期累計期間の平均雇用人員を記載しております。

2 当第3四半期累計期間において、連結子会社であった有限会社薬王堂販売を吸収合併したことにより、従業員数は前事業年度末に比べ297名増加し、当社の従業員数は433名となりました。なお、臨時社員数（平均雇用人員）は912名増加し、1,078名となりました。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	10,200,000
計	10,200,000

② 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年1月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,001,200	3,001,200	大阪証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	3,001,200	3,001,200	—	—

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年9月1日～ 平成24年11月30日	—	3,001,200	—	799,300	—	840,728

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成24年8月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

① 【発行済株式】

平成24年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	—	—	—
議決権制限株式（自己株式等）	—	—	—
議決権制限株式（その他）	—	—	—
完全議決権株式（自己株式等）	(自己保有株式) 普通株式 147,800	—	—
完全議決権株式（その他）	普通株式 2,853,000	28,530	—
単元未満株式	普通株式 400	—	1単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	3,001,200	—	—
総株主の議決権	—	28,530	—

（注）「単元未満株式」欄の普通株式には、当社保有の自己株式10株が含まれております。

② 【自己株式等】

平成24年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社薬王堂	岩手県紫波郡矢巾町大字 広宮沢第3地割242番地1	147,800	—	147,800	4.92
計	—	147,800	—	147,800	4.92

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第63号）に基づいて作成しております。

なお、前第3四半期累計期間（平成23年3月1日から平成23年11月30日まで）は四半期財務諸表を作成していないため、四半期損益計算書に係る比較情報は記載しておりません。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社を有していないため、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,921,905	1,200,043
売掛金	126,150	149,531
商品	6,330,861	6,904,699
貯蔵品	6,667	6,631
その他	740,361	706,915
貸倒引当金	△150	△150
流動資産合計	9,125,797	8,967,670
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,635,908	5,877,882
土地	686,380	686,380
その他（純額）	552,183	660,769
有形固定資産合計	5,874,473	7,225,031
無形固定資産	98,185	151,843
投資その他の資産		
敷金及び保証金	2,700,520	2,743,944
その他	1,041,795	1,076,709
貸倒引当金	△30,012	△30,012
投資その他の資産合計	3,712,303	3,790,642
固定資産合計	9,684,962	11,167,518
資産合計	18,810,760	20,135,188
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,213,044	6,035,989
1年内返済予定の長期借入金	1,563,360	1,606,112
未払法人税等	853,000	201,000
賞与引当金	251,409	138,634
ポイント引当金	21,917	22,861
その他	1,197,777	962,226
流動負債合計	9,100,508	8,966,822
固定負債		
長期借入金	2,207,534	2,759,514
退職給付引当金	87,167	96,197
資産除去債務	325,237	392,751
その他	291,428	247,388
固定負債合計	2,911,367	3,495,850
負債合計	12,011,875	12,462,673

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年2月29日)	当第3四半期会計期間 (平成24年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	799,300	799,300
資本剰余金	840,728	840,728
利益剰余金	5,237,783	6,112,085
自己株式	△78,687	△78,705
株主資本合計	6,799,124	7,673,407
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△239	△893
評価・換算差額等合計	△239	△893
純資産合計	6,798,884	7,672,514
負債純資産合計	18,810,760	20,135,188

(2)【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年11月30日)
売上高	36,210,926
売上原価	27,730,712
売上総利益	8,480,213
販売費及び一般管理費	7,070,411
営業利益	1,409,801
営業外収益	
受取利息	18,617
受取配当金	94
受取事務手数料	52,276
不動産賃貸料	538,102
その他	69,148
営業外収益合計	678,239
営業外費用	
支払利息	34,006
不動産賃貸原価	507,806
その他	1,715
営業外費用合計	543,528
経常利益	1,544,511
特別利益	
抱合せ株式消滅差益	145,638
特別利益合計	145,638
特別損失	
固定資産除却損	1,298
減損損失	5,325
賃貸借契約解約損	1,600
特別損失合計	8,224
税引前四半期純利益	1,681,925
法人税、住民税及び事業税	626,273
法人税等調整額	67,214
法人税等合計	693,487
四半期純利益	988,438

【追加情報】

当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用) 第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
減価償却費	602,523千円

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年5月31日 定時株主総会	普通株式	94,162	3,300	平成23年2月28日	平成23年5月31日	利益剰余金

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)

1 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月23日 定時株主総会	普通株式	114,136	40	平成24年2月29日	平成24年5月24日	利益剰余金

(注)平成24年1月4日付で、普通株式1株につき100株の割合で株式分割を実施しております。

2 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当第3四半期累計期間（自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日）

当社は、医薬品、化粧品、食料品及び日用雑貨等生活関連商品を扱う小売業を専ら営んでおり、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	当第3四半期累計期間 (自 平成24年3月1日 至 平成24年11月30日)
1株当たり四半期純利益金額	346円41銭
(算定上の基礎)	
四半期純利益金額 (千円)	988,438
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	988,438
普通株式の期中平均株式数 (株)	2,853,395

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年1月8日

株式会社薬王堂
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 谷 藤 雅 俊 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 木 村 大 輔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社薬王堂の平成24年3月1日から平成25年2月28日までの第32期事業年度の第3四半期会計期間（平成24年9月1日から平成24年11月30日まで）及び第3四半期累計期間（平成24年3月1日から平成24年11月30日まで）に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社薬王堂の平成24年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。